

2018年度 第1学年 前期中間考査 英語実技試験実施要項

- 1 目的 通常の英語の授業で培ったコミュニケーションスキルが、どの程度伸びているかを測るためのパフォーマンステストです。
特に、今回は、スピーキング（表現・やりとり）の力のうち、「やりとり」に重きを置いて、伸長を測る機会とします。

- 2 実施日程 平成30年6月6日（水）か7日（木）のいずれか 校時は追って連絡する。
（欠席者については後日、同様の試験の場を設定し実施する）

3 実施方法

- (1) 各クラスの人数に応じて3～4名のグループに分かれる。
(グループ編成は、各授業担当者の指示に従うこと。)
- (2) 必要ならば、MCもしくはFirst Speakerをローテーションで決めても良い。
- (3) 以下のいずれかの話題について、3分間グループで自由にディスカッションをする。
e. g.) 1年7組41名 4名×8グループ + 3名×3グループ 計11グループ
- 1) Warm-up 練習：自己紹介&フリートーキング 3分
 - 2) 第1ラウンド テーマ③について全グループが3分間話し合う
(T1はG1をT2はG6を観察評価)
 - 3) 第2ラウンド テーマ⑥について全グループが3分間話し合う
(T1はG2をT2はG7を観察評価)
 - 4) 以下、11ラウンドまで続く。 そのラウンドのトピックは教員が提示する。

* トピック

- ① What is great about your home town? (あなたの町のよいところ?)
- ② Where would you like to go on vacation? (休暇で行きたいところは?)
- ③ What are you interested in most? (今、1番興味のあることは何?)
- ④ Explain about the food you can't live without. (無くっては生きていけない程、大好きな食べ物)
- ⑤ What do you like to eat for lunch? (あなたの好きなランチメニューは?)
- ⑥ What kind of music do you like the best? (どんな音楽が好き?)
- ⑦ Talk about your favorite sports or hobbies. (好きなスポーツや趣味は?)
- ⑧ What is your goal at Kozukata? What do you want to do here? (不來方での目標は何?)
- ⑨ To get healthy, should people exercise more or sleep more? (健康のためには、運動を増やすのと睡眠を増やすの、どちらをすべき?)
- ⑩ Do you think studying English is important? Why? (英語の勉強は大切? どうしてそう思う?)
- ⑪ What book are you reading during the Morning Reading Time? (朝読書でどんな本読んでいるの?)
- ⑫ Who is the person you respect? Why? (あなたの尊敬する人は誰? 理由は?)

- (4) 教科担当者が1つずつグループを回り、次の観点で、個人の観察評価を行う。

4 評価の観点

たくさんあるスピーキングの評価の観点の中から、今回は次の3点に絞って点数化します。

「正確さ」は今回の評価には加味しませんので、文法的な誤りについては心配せずに話してください。

(1) 内容（テーマ・話し合いの流れに沿った発言内容）

テーマに即した内容について、自分自身の考えや意見についてわかりやすく話している。	A
テーマに即した内容について、流れに沿った発言をして話し合いに参加している。	B
テーマに即して話そうとしているが、内容がやや不明瞭である。	C

(2) コミュニケーションへの意欲（意欲的な発言・英語を使おうとする姿勢）

積極的に発言し、話し合いに参加しようとしている。英語のみでやりとりしようとしている。	A
話し合いに参加し、時々言いよどむが、英語でやりとりしようとしている。	B
話し合いに参加する意欲があまり見られず、英語での発言が少ない。	C

(3) Turn Taking（バランスの取れた発言と他者の意見を聴く姿勢）

他者の意見に耳を傾けたり、既習の会話表現を積極的に用いて反応したり質問したりすることで、グループ内の会話の継続に努めている。	A
他者の意見にもよく耳を傾けながら、それについて自分の意見を述べようと努めている。	B
積極性には欠けるが、時々発言したり、他者の意見を聞いたりしている様子が見られる。	C

5 その他

(1) このパフォーマンステストの結果は点数化し、コミュニケーション英語 I の評点に加味します。

(2) 前もって、各自で話したい内容をまとめてスピーキング練習をしていてもかまいません。
ただし、グループ編成は当日決まりますので、台本を作ってそれを暗記して臨むことはできません。

大切なのは、相手との自然なやりとりです。当日は原稿を見ながらの発言はできません。

(3) 座席順に自分の順番が回ってくるのを待っていてもかまいません。

(4) 「聞き返し」 (“Please say that again.” “Do you mean...?” など) や「言い換え」「話題の転換」など、さまざまな「会話の継続のテクニック」表現を駆使してみましょう。

(5) 「テスト」と称していますが、減点法で評価する目的ではなく、「できるようになったことを確認する」ために実施するものです。過度に緊張せずに、友人との対話を楽しむつもりで取り組んでください。



不来方高等学校 CAN-DO LIST

1学年(体育学系)

<育てたい生徒像>		◎外国語を学ぶことにより、言語や文化に対する理解を深め、自ら積極的にコミュニケーションを図ろうと努力する生徒。また、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を身につけた生徒。 自らの 外国語運用能力を駆使し、自分の考えや気持ちを臆することなく表現することができる生徒【自由】		達成度		
<具体的到達目標>		30%以上の生徒が実用英語検定3級レベルの言語能力を獲得する。				
4 技能 (5 領域)	Listening	1	Listening Comprehension (リスニング全般)	・比較的ゆっくりと話される120～140語程度の興味・関心のある話題や身近な話題に関する話を繰り返し聞いて、その大意をとらえることができる。		
		2	Classroom English (教室内英語の聞き取り)	・教室で用いられる英語は、ゆっくりと繰り返し話された簡単なものであれば大体理解でき、質問や与えられた指示に対応することができる。		
		3	Topic (英文の題材)	・ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活の身近なトピックについての短い対話のトピックを聞き取ることができる。		
	Reading	1	Speed/Rapid Reading (速読)	・パラグラフ毎に書かれている内容の概要や要点を概ね理解することができる。(目安:60WPM)		
		2	Story/Essay Reading (物語・エッセイの読解)	・簡単な英語で書かれた物語やエッセイを読むとき、辞書を引きながら、注釈や説明を参考にしながら、読むことができる。		
		3	Logical Reading (論理的な文章の読解)	・簡単な説明文を読み、辞書を引きながら、視覚的な情報や注釈・説明を参考にしながら、筆者の意図をおおむね的確に読み取ることができる。		
		4	Oral Interpretation (解釈を伴う音声表現)	・英文の内容の理解に多少不十分な点はあるが、内容がほぼ聞き手に伝わる音読ができる。		
	Speaking (Interaction)	1	会話 (Conversation)	・スポーツ、食べ物などの好き嫌いなどの、とてもなじみのあるトピックに関して、はっきり話されれば、限られたレパートリーを使って、簡単な意見交換をすることができる。		
		2	Discussion/ Debate (ディスカッション・ティベート)	・身近な話題について、ワークシート等を使って準備をすれば、なんとか話し合いに参加することができる。		
		3	Conversation Strategy (会話における方略)	・級友に対して、決まった表現で謝意や同意を言い表すことができる。 ・会話中、相手に繰り返しを求めることができる。		
	Speaking (Production)	1	Inpromptu Speech (即興スピーチ)	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、自分の言葉で発表することができる。(目安:60秒スピーチ)		
		2	Sustained Monologue (一定時間一人で行う発話)	・前もって発話することを用意した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。		
		3	Presentation (プレゼンテーション)	・絵や写真などの資料を使いながら、印象に残った出来事や自分の身近な話題に関して、メモや原稿を見ながらであれば、簡単に説明することができる。		
	Writing	1	Written Production (ライティング全般)	・自分の意見や感想を2～3文の英語で書くことができる。		
		2	Correspondence (通信)	・2～3文程度の短い簡単な内容の英語のあいさつ状を書くことができる。		
3		Interaction/ Monitoring (やりとり・推敲)	・自分が書いた英文を、指摘されたことや提示されたチェック項目を参考にしながら書き直すことができる。			

※ 達成度はA(おおむね80%以上)・B(おおむね60%以上)・C(おおむね40%以上)・D(おおむね40%未満)の4段階。個別と技能毎に年度末に記入

2018年度不來方高等学校英語パフォーマンステスト計画（1学年）

岩手県立不來方高等学校 英語科

科目	学系	前期中間考査	前期末考査	後期中間考査	学年末考査	
コミュニケーション英語Ⅰ	試験内容	Speaking (Informal Discussion) ・4人グループで、与えられたごく身近なトピックについて4分×10ラウンドの簡易ディスカッションを行う。	Speaking (Informal Discussion) ・4人グループで、与えられた身近なトピックについて4分×10ラウンドの簡易ディスカッションを行う。	Speaking (Informal Discussion) ・4人グループで、立場が分かれる話題について4分×10ラウンドの簡易ディスカッションを行う。	Speaking (Informal Discussion) ・4人グループで、立場が分かれる話題について4分×10ラウンドの簡易ディスカッション(外語はディベート)を行う。	
	対応CAN-DO	人文理数・芸術	・ごく身近な話題について、ワークシート等を使って準備をすれば、なんとか話し合いに参加することができる。	・身近な話題について、ワークシート等を使って準備をすれば、なんとか話し合いに参加することができる。	・なじみのあるトピックについて、ワークシート等を使って準備をすれば、話題に沿った発言をすることができる。	・なじみのあるトピックについて、ワークシート等を使って準備をすれば、話題に沿った発言をすることができる。
		外国語	・ごく身近なトピックについて、ワークシート等を使って準備をすれば、話し合いに参加でき、意見のやり取りをすることができる。	・なじみのあるトピックについて、ワークシート等を使って準備をすれば、話し合いに参加でき、意見のやり取りをすることができる。	・多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、意見をやりとりできる。	・多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、意見をやりとりできる。
		体育	・ごく身近な話題について、ワークシート等を使って準備をすれば、なんとか話題に沿った英文を言うことができる。	・身近な話題について、ワークシート等を使って準備をすれば、なんとか話題に沿った英文を言うことができる。	・身近な話題について、ワークシート等を使って準備をすれば、なんとか話し合いに参加することができる。	・身近な話題について、ワークシート等を使って準備をすれば、なんとか話し合いに参加することができる。
評価項目	3段階評価 (1) Participation (2) Content (3) Turn Taking	3段階評価 (1) Participation (2) Content (3) Turn Taking	3段階評価 (1) Participation (2) Content/Logic (3) Turn Taking	3段階評価 (1) Participation (2) Content/Logic (3) Turn Taking		
英語表現Ⅰ	試験内容	Speaking (Short Presentation) ・Show & Tell形式の用意された短いプレゼンテーションを行った後、面接担当者と即興でQ & Aのやりとりを行う。	Speaking (Short Presentation) ・Show & Tell形式の用意された短いプレゼンテーションを行った後、面接担当者と即興でQ & Aのやりとりを行う。	Speaking (Picture Description) ・示された絵について即興で描写した後、面接担当者と与えられたテーマについて英語で質疑応答する。	Speaking (Prepared Speech) ・前もって原稿を用意した上でスピーチを行い、その後、面接担当者和そのテーマについて英語で質疑応答する。	
	対応CAN-DO	人文理数・芸術	・絵や写真などの資料を使いながら、よく知っている話題に関して、メモを見ながらであれば、聞き手にわかりやすく説明できる。	・絵や写真などの資料を使いながら、よく知っている話題に関して、メモを見ながらであれば、聞き手にわかりやすく工夫をして説明できる。	・示された視覚的な情報と与えられたテーマについて、情報や考えをまとめ、自分の言葉で説明し、自分の考えについて簡単に話すことができる。	・前もって発言することを意図した上で、日常生活に関する簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で、描写できる。
		外国語	・絵や写真などの資料を使いながら、よく知っている話題に関して、メモを見ながらであれば、聞き手にわかりやすく説明できる。	・絵や写真などの資料を使いながら、よく知っている話題に関して、メモを見ながらであれば、聞き手にわかりやすく工夫しながら詳しい説明をすることができる。	・示された視覚的な情報と与えられたテーマについて、情報や考えをまとめ、自分の言葉で説明し、自分の考えについて聞き手にわかりやすく話すことができる。	・自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について、ある程度整理しながら話すことができる。
		体育	・絵や写真などの資料を使いながら、よく知っている話題に関して、メモを見ながらであれば、簡単に説明できる。	・絵や写真などの資料を使いながら、よく知っている話題に関して、メモを見ながらであれば、わかりやすく説明できる。	・示された視覚的な情報と与えられたテーマについて、情報や考えをまとめ、自分の言葉で説明し、自分の考えについてごく簡単に話すことができる。	・前もって発言することを意図した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。
評価項目	3段階評価 (1) Content (2) English (3) Delivery/ Attitude	3段階評価 (1) Content (2) English (3) Delivery/ Attitude	3段階評価 (1) Content (2) English (3) Delivery/ Attitude	3段階評価 (1) Content (2) English (3) Delivery/ Attitude		
試験内容	Writing (Short Essay Writing) ・与えられたテーマについて、まとまりのある英文を書く。構想含め40分間(スピーキングテストと並行して実施。辞書使用可。)	Writing (Short Essay Writing) ・与えられたテーマについて、まとまりのある英文を書く。構想含め40分間(スピーキングテストと並行して実施。辞書使用可。)	Writing (Letter/Email Writing) ・与えられたテーマについて、目的に応じた英文を書く。構想含め40分間(スピーキングテストと並行して実施。辞書使用可。)	Writing (Essay Writing) ・与えられたテーマについて、まとまりのある英文を書く。構想含め40分間(スピーキングテストと並行して実施。辞書使用可。)		
対応CAN-DO	人文理数・芸術	・読んだり聞いたりした内容について、自分の意見や感想、または出来事の詳細を30語程度のまとまりのある英語で書くことができる。	・読んだり聞いたりした内容について、自分の意見や感想、または出来事の詳細を40語程度のまとまりのある英語でわかりやすく書くことができる。	・英語の手紙や電子メールなどを、辞書を引きながらであれば、書くことができる。	・自分の意見や感想、または出来事の詳細を5～6文(50語)程度のまとまりのある英語でわかりやすく書くことができる。	
	外国語	・読んだり聞いたりした内容について、main idea と supporting idea からなるパラグラフを構成することができる。理由や具体例をあげながら、一貫した50語程度の文章を書くことができる。	・読んだり聞いたりした内容について、main idea と supporting idea からなるパラグラフを構成することができる。理由や具体例をあげながら、一貫した60語程度の文章を書くことができる。	・自分の興味のある話題について、ニュースを提供したり、体験や印象を述べたりする個人的な手紙を書くことができる。	・読んだり聞いたりした内容について、main idea と supporting idea からなるパラグラフを構成することができる。理由や具体例をあげながら、一貫した70語程度の文章を書くことができる。	
	体育	・読んだり聞いたりした内容について、自分の意見や感想を20語程度の英語で書くことができる。	・読んだり聞いたりした内容について、自分の意見や感想を20語程度の英語で書くことができる。	・短い簡単な内容の英語のあいさつ状を書くことができる。	・読んだり聞いたりした内容について、自分の意見や感想を30語程度の英語で書くことができる。	
評価項目	3段階評価 (1) Content (2) English (Accuracy) (3) Fluency	3段階評価 (1) Content (2) English (Accuracy) (3) Fluency	3段階評価 (1) Content (2) English (Accuracy) (3) Fluency	3段階評価 (1) Content (2) English (Accuracy) (3) Fluency		